

キャンドルファイヤー

ねらい	ろうソクの炎を眺めながらテーマを決めて会話をしたり、静かな時間を過ごしたりすることで、友達の考えを知り、自己を見つめるとともに、参加者の連帯感を高める。	
費用	無料	
対象・人数	小学生以上（150人まで）	
場所	霧島自然ふれあいセンターキャンプ場（炊飯棟）	
準備・用具	<p>【参加者が用意する物】</p> <p>なし</p> <p>【ふれあいセンターが用意する物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ろうソク ・着火ライター（マッチ） 	
留意事項	<p>(1) 参加者がスムーズに会話ができるようにテーマを事前に決めておく。</p> <p>(2) 参加者全員が会話に入ることが出来るように代表者はサポートを行う。</p> <p>(3) 衣類等に火が燃え移らないように十分注意する。</p>	
実施方法	<p>【内 容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 事前準備 <ul style="list-style-type: none"> ・会話のテーマを決めておく。 ・テーブル中央にろうソクを設置する。 各テーブルのろうソクに火をつける。 参加者にテーマを伝え、会話を楽しむ。 活動の最後にふりかえりを行う。 片付け <ul style="list-style-type: none"> ・ろうソクの火を消す。 ・貸出し物を返却する。 	<p>【留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テーマは学校の実態に応じて決めておく。 ○ ろうソクはテーブル毎に1個ずつ配置する。 ○ テーマに合った内容の会話が出来ているかを確認する。 ○ ろうソクは熱くなっている為、火を消した後にすぐ触らないようにする。 ○ 全てのろうソクの火が消えているかを確認する。 ○ 全ての貸出し物は活動後に管理棟へ返却する。

(会話テーマ例)

- 家族のこと（家族の紹介，最近起きた出来事等）
- 好きなこと（スポーツ，教科，場所等）
- 友達のこと（友達の良いところ，他己紹介等）
- 学級での課題など

※ 内容は学校の実態に応じて決める



準備物



キャンドル



活動の様子①



活動の様子②

(ふりかえりの視点例)

- 人の話をしっかり聞くことができたか
- 活動前よりも友達のことを知ることができたか
- 普段と違う環境の中で語り合った中でどのような事を感じたか